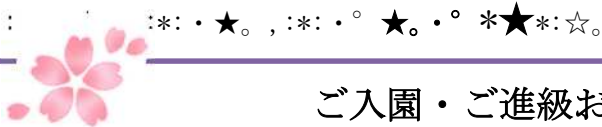




みらいつうしん

4月号

令和5年4月1日
田園調布学園大学
みらいこども園
園長 勝浦 芳子



ご入園・ご進級おめでとうございます

さわやかな風が心地よく、春の花の美しさに心癒される今日この頃でございます。

いよいよ、令和5年度がスタートいたしました。本年度は、55名の新入園児を迎え、総数209名の園児達がみらいこども園で、乳幼児期生活を送ります。元気な子ども達と一緒に過ごせることをとても嬉しく思います。引き続き、本園の理念である「みらいこども園は、子どもも大人も尊重され生きる喜びがもてる場所です」を基本として、園児一人一人が、遊びを通して好きなことを見つけ、主体性をもって園生活を送れるよう努めて参ります。また、友達を思いやり尊重しながら個々の資質や能力を育ていけるよう職員一丸となって環境を整えて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、私たちが脅かすコロナウイルス感染がやっと落ち着きを見せ、少しずつではありますが、元の生活に戻りつつあります。本園も、健康状態の把握をしっかりと行いながら、人とのつながりを大切に考え、「力強く生き抜く力」「生涯にわたる人格形成の基礎」を培うために努力して参ります。まずは、園児同士、園児と職員、保護者様と職員のコミュニケーションを執る第一歩として、今年度も、『挨拶』を大切にしていきます。挨拶は、相手の存在を認めて関係性を深めるきっかけになります。子ども達が、毎日の生活の中でたくさんの友達に出会い、人との関わりの一部として、『挨拶』を習慣として根付かせて行きたいと思えます。朝、登園したら、「おはよう」何かをしてもらったら、「ありがとう」は、これからの人生においても必要ですので、特に大切にしたいと思えます。どうぞ、保護者の皆様も笑顔で挨拶をしていただき、子どもの良い手本となってください。職員も保護者の方にお声をたくさんおかけし円滑な関係性を築いてけるよう努力いたします。また、4月は新しい生活の始まりですので、子ども達は、ドキドキ感とワクワク感を交差しながら、緊張や不安でいっぱいです。一生懸命新しい環境に足を踏み出し、孤軍奮闘していますので、園から帰ってきたら、お子様をぎゅっと抱きしめ、「今日は頑張ったね。」と声をかけてあげてください。これが、親子の絆を深く結び付け、愛着形成に繋がります。どんなときも未来に向けて成長を続け、笑顔をくれる子ども達と過ごす時間を大切に、子育てをしていきましょう。入園・進級に関係なくお子さまのために力を合わせていきましょう。みらいこども園が、子ども達の大好きな場所となり、保護者の皆様も安心して預けられる施設となるよう職員一同力を合わせて参ります。

勝浦

優しい新緑の芽吹きを感じながら、入園、進級を迎えた子ども達の様々な表情に出会い、新年度の始まりを実感しています。今年度は子どもの声を聴きながら、子ども達が夢中になって遊び込める環境づくりに園庭を中心に力を入れて取り組んでまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(中城真由美)

新しい扉が開く4月。小さな子ども達の大きな可能性を感じ、わくわくしています。一人一人の「今」を大切に、やりたいことが叶えられるみらいこども園でありたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(柳鶴聡美)

子ども達は、入園・進級をして不安な気持ちや緊張感、また、大きくなったことの嬉しさなど様々な感情を抱いているように感じます。子ども一人一人の目に見えない思いに、丁寧に目と心に向けて応えていける大人でいたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。(三ツ橋知子)

